

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	はまりハきっず若菜台		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		~ 2026年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		~ 2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童指導員だけではなく、看護師、PT等全職員がチームとなって立案している。</li> <li>・事前に活動の目的から注意点などを全職員で共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動後に振り返りを行い次の活動に活かしていきたい。</li> </ul>
2	地域と交流しやすい立地条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動や散歩、図書館に立ち寄り、お祭りなどの地域行事に積極的に参加し、地域の方々との交流の機会を作りお子さんと一緒に行うようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の児童や高齢者との交流を行うために、みんなで楽しめるイベントを企画していく。</li> </ul>
3	お子さんのケアなどについて、同じ企業グループ内の他部署や他事業所と積極的に交流を持ち、情報共有を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃より他部署や他事業所と良好な関係を築き、課題や目標を共有できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議や合同のカンファレンスに積極的に参加するようにしている</li> <li>・必要があれば、合同カンファレンスなどの開催を呼び掛けるようにしていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	カンファレンスや会議などの実施に全職員が参加することができずに話し合いが持ちにくい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管に業務が集中している。</li> <li>・通学支援、送迎等の業務により、職員がそろって参加できる機会が少ない。</li> <li>・通学支援等の本来の業務以外の業務によって職員に負担がかかっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の集中を避けるために業務分担を行う。</li> <li>・情報共有に関しては、会議のオンライン活用。</li> <li>・非常勤職員の会議や勉強会などへの参加時は勤務対応とする。</li> <li>・直接対面して話せるような時間をつくるために、できるだけ放デイ業務以外の業務は他部署に依頼する。</li> </ul>
2	緊急時、非常時等の対策、訓練、保護者への周知が不十分。	緊急事態、災害等が起こるという想定に至らず、自分事として捉えられていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時に必要となる物品の確保を充実させる</li> <li>・地域における災害発生予想(ハザードマップ等)を把握して周知していく</li> <li>・被災した事業所から対策等を学ぶ</li> </ul>
3	家族支援、保護者への支援が不十分。	利用中のお子さんのケアや活動に重点を置いて、家族支援が後回し、または他事業所がやってくれるものと考えているのではないかな。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭支援として何をやるのかから学ぶ</li> <li>・対人スキル、接遇面でのスキルアップが必要</li> <li>・内部、外部研修等の積極的活用</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 はまりはきつす石葉台

公表日 2026年 6月 1日

利用児童数

1

回収数

1

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	0	0	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	0	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	0	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	0	0	0	1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	0	0	0	1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	0	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	1	0		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	0	1	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	0	1	0	0	・主に送迎時に共有している。人によるが、たまに質問しても「今日は担当じゃないからわからない」と言われることがあり、がっかりする。	・職員全員が保護者の方々にしっかりと伝えられるよう、事業所でのお子さまの様子を握って参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	0	0	1	0	・面談の回数が少ない。	・個別支援計画、アセスメントのための面談はもとより、その他にも必要に応じて面談を積極的に実施していきたいと思えます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0	・難ありの摂食も本人のペースで進めてくれ、感謝している。	・ご家族のご希望を伺ったうえで、お子さまに合わせて支援の方法を検討し、ご家庭でも実施可能な支援を提供して参ります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	1	0		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	0	0	1	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	0	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	0	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	0	0	1	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	0	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	0	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	0	0	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	0	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
はまりハきっず若葉台		2026年 6月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	2	・安全性を高めるために、床のクッションマットが剥がれないようテープでとめている。 ・指導室の空間が狭いため、整理整頓に心がけている。	・同じ室内で活動と整理整頓が完了できるような収納を考えたい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	・カーテンなどで室内の区分けをしている。	・同じグループ内の株式会社から借りている別室はあるが、株式会社のスタッフががいることもあり、個別の部屋としては使用できていない。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	0	4		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	3		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・お子さまが来る前のスタッフの打ち合わせや翌週以降の予定の確認を金曜日に行うこと等、ほぼ毎日スタッフが自身の意見を伝える場を設けている。	・個々の意見をまとめるだけでなく、全員で今できる改善策から検討し、将来的に業務の分担や新しい取り組みなどに効率よく発展させる必要がある。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	3		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	1	3		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	2		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	3		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	4		・お子さまの行動特徴をどのようにとらえて解釈するのかについての技術や取り組み方を検討しています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	2		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	・職種は関係なく、全職員で週ごとに役割を分担し、チーム全体で検討している。	・話し合いの時間をもっと多くとり、よりお子さま方に合わせて活動内容の工夫をする必要がある。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	1	3		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	0	4		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		・今後地域のお子さまの通われている保育園等と交流ができるようにしていきたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	・連絡帳と送迎時に添乗職員がお子さまの状況を伝え、保護者の方々からも同様に話を伺うことでお子さまの成長などについて確認するようにしています。	・保護者の方々との情報の共有はできて、課題についての話題にはなりにくいので、定期的な面談や必要に応じての面談を積極的に行うようにしていきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4		・今後、ペアレントトレーニングなどの情報を集めて保護者の方々に情報提供できるようにしていきたいと思います。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	・面談だけではなく、普段の帰宅送迎時やお電話などで、お子さまについてご家庭での様子や保護者との関わりなどで伺ったことも支援計画に活かすようにしています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	2		・保護者の方が忙しく、面談等の機会が作れない時はこちらから伺って直接お話をさせて頂き、支援計画の同意を頂くようにしようと思います。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	・定期的には行っていませんが、ご自宅への送迎時にお子さまの最近の様子を伺う等で相談のきっかけをつくるようにしています。 ・ご自宅への送迎時や後から電話やLINE等で、できるだけ早く詳しいお話を伺って適切なお答えができるようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		・今後、OBに来ていただき、今ご利用されている保護者の方々に経験を語って頂けるような会などを実施していきたいと思っています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	・SNSを通して、空き情報や活動の様子を発信しています。	・よりリアルタイムで空き情報などを発信し、活動の様子なども定期的に短い周期であげられるようにしていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・お子さまの気持ちの表現方法を確認しておき、出てくるサインを見逃さないように職員間でも声かけを行っています。 ・お子さまのサインに対して、職員が推測をして対応し、推測が間違っているようならスムーズに対応方法を改めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		当事業所が主体となって、地域住民参加を促すような行事などを探して立ち上げられるようにしていきたいと思っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3		・それぞれのマニュアルについてはあらかじめ整備して、職員には勉強会という形で、保護者の方々へはお知らせという形で周知できるようにしていきます。 ・避難や感染症対策等の訓練についても、職員はお子さま方を対象とした実践的な訓練を実施し、保護者の方々へはその報告として注意点やそれぞれの方法をお伝えし、ご理解とご協力を頂けるようにしていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	4		上記に同じ。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	・その日にご利用されるお子さまのカルテを出しておき、事前に確認したり、いざという時でもすぐに確認できるようにしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・その日にご利用されるお子さまの名前をホワイトボード貼りだしてあり、名前の横に食物アレルギーの確認ができるように毎回表示しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	3		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	・報告書として作成する前に全員に意見を聞く場をつくるようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	3		・2026年度は、事業所内で研修会を数回実施する予定です。

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	3		・2027年度は、事業所内で研修会を数回実施する予定です。
----	--	---	---	--	-------------------------------